

平成19年度
和文化教育研究紀要
第 2 号



全国大会の会場となった兵庫県立歴史博物館（姫路市）

平成20年 2 月

和文化教育研究交流協会
Association for the Wa Culture Education

目 次

(I) 論稿

| | | |
|---------------------|--------------------------|---|
| 地域財の活用と人づくり | 兵庫県立歴史博物館 陶山 浩 | 1 |
| 東京都における日本の伝統・文化理解教育 | —日本の伝統・文化理解教育推進事業を中心として— | 5 |
| | 西日本工業大学 永添祥多 | |

(II) 和文化教育の授業実践

| | | | |
|-------------------------|------------------|--------------------|----|
| 民俗仮面を教材とした社会科学習 | —小学校第6学年国際理解学習— | 広島大学大学院 石川律子 | 13 |
| 全校生徒で取り組む尺八演奏をめざして | | 東広島市立向陽中学校 寄原洋子 | 17 |
| 華道を通じた和文化学習 | | 兵庫県立明石北高等学校 三原慎吾 | 22 |
| 日本のテクノロジー | —からくり人形からロボットへ— | 兵庫県立東播工業高校 森本雄一 | 24 |
| 「日本のマンガ・アニメ」 | —科目「日本の文化」の取り組み— | 兵庫県立西宮高校 前田容子 | 28 |
| 地域の人材を生かした伝統・文化理解教育の実践 | | 東京都足立区立長門小学校 秋山睦子 | 32 |
| 獅子舞で、地域プライドを高める | | 姫路市立安富北小学校 橋本忠和 | 36 |
| 能楽鑑賞と楽器体験 | —吹田東の和文化— | 大阪府立吹田東高等学校 鷺尾菊子 | 40 |
| 和太鼓部の活動で成長する生徒たち | | 大阪府立芥川高等学校 山下 勉 | 43 |
| もの作りのこころを伝える | —和紙作りを通して— | 紙漉き継承者 田村 正 | 48 |
| 地域の大学と博物館の連携から生まれる和文化教育 | | 千葉県八千代市立郷土博物館 佐藤 誠 | 52 |

(III) 平成19年度全国大会の概要

| | | |
|------------------------|-----------|----|
| 大会日程 | | 56 |
| 大会風景 | | 57 |
| 記念講演「地域文化が醸し出す日本人の心」 | 宗教学者 山折哲雄 | 61 |
| 平成18年度和文化教育研究交流協会活動の報告 | 理事長 中村 哲 | 65 |
| 全国大会の概要 | 理事 森 一郎 | 66 |
| パネルトーク「地域と人づくり」 | 理事長 中村 哲 | 67 |
| 和文文化体験講座「楽座」の内容 | 井上重義・安藤博美 | 69 |

(IV) 資料

| | |
|----------|----|
| 新聞報道記事 | 71 |
| 会則 | 72 |
| 役員名簿 | 74 |
| 『紀要』投稿規程 | 75 |
| 編集後記 | 75 |
| 入会のご案内 | 76 |

表紙写真:兵庫県立歴史博物館は、昭和55年に文化勲章を受賞した故丹下健三氏が基本設計を行った。別名「白鷺城」とも呼ばれる姫路城をイメージし、壁は石垣を、空調用の換気口は狭間を表し、そののびやかな外観は白鷺が羽を広げた様子を表している。美しい姫路城が映えるように設計されており、記念撮影のよいポイントになっている。